

進めています！

「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」

～平成22年度の事業紹介～

乳幼児期の子供を持つ親・保護者への家庭教育支援施策として平成20年度に開始した「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」は、今年度で3年目を迎えました。プロジェクトの施策の柱と今年度取り組んでいる事業の概要を紹介します。

施策の柱1 乳幼児期からの子供の教育の重要性について全ての保護者に伝えるために

(1) 乳幼児を育てている保護者向け資料「乳幼児期を大切に」の配布

平成21年度に引き続き、保護者向け資料「乳幼児期を大切に ～心と体の基礎を育てるとき」を発行しました。内容等、詳しいことは6ページを御覧ください。

(2) 新小学1年生の子供と保護者向け教材「そうだ、やっぱり早起き・早寝！」の配布

新小学1年生とその保護者の方を対象に、子供の生活習慣を確立するために、「はやおき・はやねカレンダー」やシールを使って親子で一緒に楽しみながら、生活リズムについて学ぶことができる学習資料(右写真)を発行しました。公立小学校の入学説明会や保護者会等で配布します。



(3) オリジナルウェブサイト・携帯サイトの運営

本プロジェクトの取組並びに都内各地域の家庭教育支援に関する取組全般や生活習慣確立に関する情報等の提供を目的とするウェブサイト及び携帯サイトを運営しています。また、毎月1～2回、メールマガジンを配信しています。詳しくは6ページを御覧ください。

(4) 研修教材の作成・配布

乳幼児健診時や家庭教育学級、保育園・幼稚園等の保護者会等の際に、保健師や保育士、講師等が乳幼児期の大切さを説明する際に使用する研修教材を作成しています。「脳と心の発達メカニズム～五感の刺激と生活習慣～」(仮題)、「生活リズムの確立のために」(仮題)の2種を作成し、区市町村等に配布する予定です。

施策の柱2 乳幼児期からの子供の教育支援の取組を地域に定着させるために

(1) 地域における家庭教育支援人材の養成

地域において家庭教育支援のネットワークづくりを進める「支援チーム」*の核になる人材の養成研修(4回)を実施しました。プログラム等、詳しくは4ページを御覧ください。

※「支援チーム」：地域の子育て支援団体や子育て経験者、PTA関係者、民生児童委員、青少年委員、社会教育施設や母子保健、子育て支援部署の行政職員等、地域の人材で構成され、子育てに関する情報や学習機会の提供、仲間づくり、身近な相談などを実施する。

(2) 地域における家庭教育支援の取組の推進

乳幼児と親にもっとも身近な地域において、支援チームの設置や、人材養成、学習機会の提供など、家庭教育支援のさまざまな取組が行われるよう、区市町村教育委員会等の家庭教育支援の取組の拡充に努めています。